



この4年間を振り返ってみると、
「あっ。」という間もないほど
短いものだったように思えます。

振り返って気付いたことなど

人文学部行動科学課程
白砂 一樹

この4年間をこの機会にあえて振り返ってみると、「あっ。」という間もないほど短いものだったように思えます。月並みな感想ですが、気付いたときにはもう、その感想をいじめてしまったあとだったのです。つまらないことは悪いことではないのだから、まあ、よしとしたいところです、勘弁して下さい。

楽しい時間は早く流れる、と一般に言われます。隣の人に訊いても、このことは認



めてくれると思います。ところで、この4年間には確実に楽しくないこともいろいろとありましたが、そういったことを思い

出したからといって、「短いものだった」という感想に変わりはありません。実は楽しいことだったのでしょか？ あまり深く考えると長くなるので、考えるのをこれくらいでやめた方が楽しい気分のままでいられそうです。過去は実は終わることなどないと考える限りは、思い出す機会はいくらでもあるだろうから、たぶん大丈夫です。楽しくなかったことが楽しくなったのだとすれば、実は過去はまだ終わってなかったわけです。だから、「今はまだ人生を語らず」とした方がいいような気がしてきました。語ったことが変化するかもしれな

いのなら、嘘をついてしまう可能性が結構あるかもしれないからです。

卒業にあたって

大学院教育学研究科
上野 あゆみ

新設された臨床心理学分野の第1期生として教育学研究科に入学したのが2年前。あっという間でした。さまざまな面接技法や心理検査の基礎を修得するために学部以上にぎっしり詰まった時間表、教育相談センターや病院、児童相談所での臨床心理実習、そして、修士論文。日々の課題をこなすだけでいっぱいなの、ここは修道院かタコ部屋かという毎日でした。けれども、そのような中で、私は、院の先生方から、第一線に立つ臨床心理士、教師、看護師の皆様から、自分が担当させていただいたクライアントの方から、そしてなによりもゼミの仲間から、ほんとうに多くのことを学びました。ここで学んだこと、体験したことは、私の一つの原点になったように思うのです。4月から病院で心理職として



こころを使った面接ができる
臨床心理士を目指して頑張っていきたい。

卒業、
修了

平成15年度

勤務することになっています。2年間で得たものを生かし、ここらを使った面接ができる臨床心理士を目指して頑張っていきたいと想います。

卒業にあたって

法学部法政コミュニケーション学科

伊藤 みのり

私にとって大学とは、出会いの場でした。その中でも「中国」との出会いは最も衝撃的であり、「中国について学ぶ」という目標と「中国関係の仕事に就く」という夢へのきっかけとなりました。また、それによって、互いに夢を語り、励ましあえる友人たちと出会い、北京大学国際関係学院への留学も実現することができました。ひとつひとつの出会いが私にとってかけがえのないものであり、それらの出会いがあったからこそ今の私があるのだと思います。大学入学以来、やりたいと思っていたことをすべてやり終えた今、私は満足感でいっぱいです。多くの出会いと夢中になれるものを見つけたこと、信念を持って夢を追いかけたこと。それが私の大学生活のすべてです。そして、そんな私を支え続けてくれた多くの人々に心から感謝しています。

今、卒業というひとつの節目に立ち、ここからの一歩が新たな夢への一歩であることを信じて、新しい生活に飛び込んでいきたいと想います。



卒業にあたっての思い ～新潟大学の恩恵～

経済学部経営学科

加藤 里実

私は三年次編入を経て新潟大学へ入学した。故に実質上の在籍期間は二年間だけである。それでも、三年目に来てよかったと思う。三年からは教養や基礎の科目が一通り終わり、専門科目が始まるからである。それまで私が夢中だったことは、大学での勉強でもサークル活動でもなく、アルバイトであった。

確かに、大学での授業にも興味を惹かれる科目も多々あったが、何のための学問かが分からなかった。もっと言えば、実生活とかけ離れていた。だから、私はバイトに熱中した。しかし、お金を稼ぐだけに終わらなかったというところが私のすごいところである。

もちろん、バイト先ではお金を稼ぐことや友達を増やすことに心血を注いだ。それ以外に、バイトで起きた問題や疑問を学問として捉え、それらを大学で勉強したり、授業でさらに知識を深めたりすることができた。幸い私の専攻は経営学だったので、バイト先の業務内容や業界事情とリンクすることが往々にしてあった。

そういった意味で新潟大学は私に学ぶ場を提供してくれ、私はその場を最大限活用することができた。これから社会へ出てからも、働きながら学び、学びながら働くというサイクルを繰り返していきたい。



本人中央

これから社会へ出てからも、働きながら学び、学びながら働くというサイクルを繰り返していきたい。



大学入学以来、やりたいと思っていたことをすべてやり終えた今、私は満足感でいっぱいです。